

本プロジェクトでは、ソーシャルメディアやWebページ上のバーチャルなコミュニケーションを、リアルなface-to-faceのコミュニケーションに近づけ、小樽での実際の観光行動に結びつくようにする、という方針のもと、以下の事業を行いました。まず、前年度に引き続き、『おたるくらし』FB/Webページと『小樽生活中文』FB/Webページの維持管理を行いました。日本語版、中国語版とも順調に購読者数（ページへのいいねの数）を増やしました。『おたるくらし』と『小樽生活中文』というFBページの存在を告知するため、フェイスブック広告も20日間ほど行い、こちらでも購読者を増やしました。60歳を超えるシニア層はパソコンやスマホそのものを触らず、『おたるくらし』の記事を目にする機会がないことが、代表者が行った講演やプレゼンテーションの参加者のコメントを通して分かったので、『おたるくらし』の本を出版することを目論み、大手出版社と出版交渉を行っています。現在も進行中です。さらに『おたるくらし』の今年が目玉として、『おたるくらし』バーチャル観光ツアーマップ（<http://otaru-class.com/map/>）を現在作成中です。なお、このマップは、ゼミ生にデータ可視化技術を教える過程の中で、その成果物として作成されました。

